

箱根山周辺の地殻変動*

Crustal Deformations around Hakone Volcano

国土地理院
Geospatial Information Authority of Japan

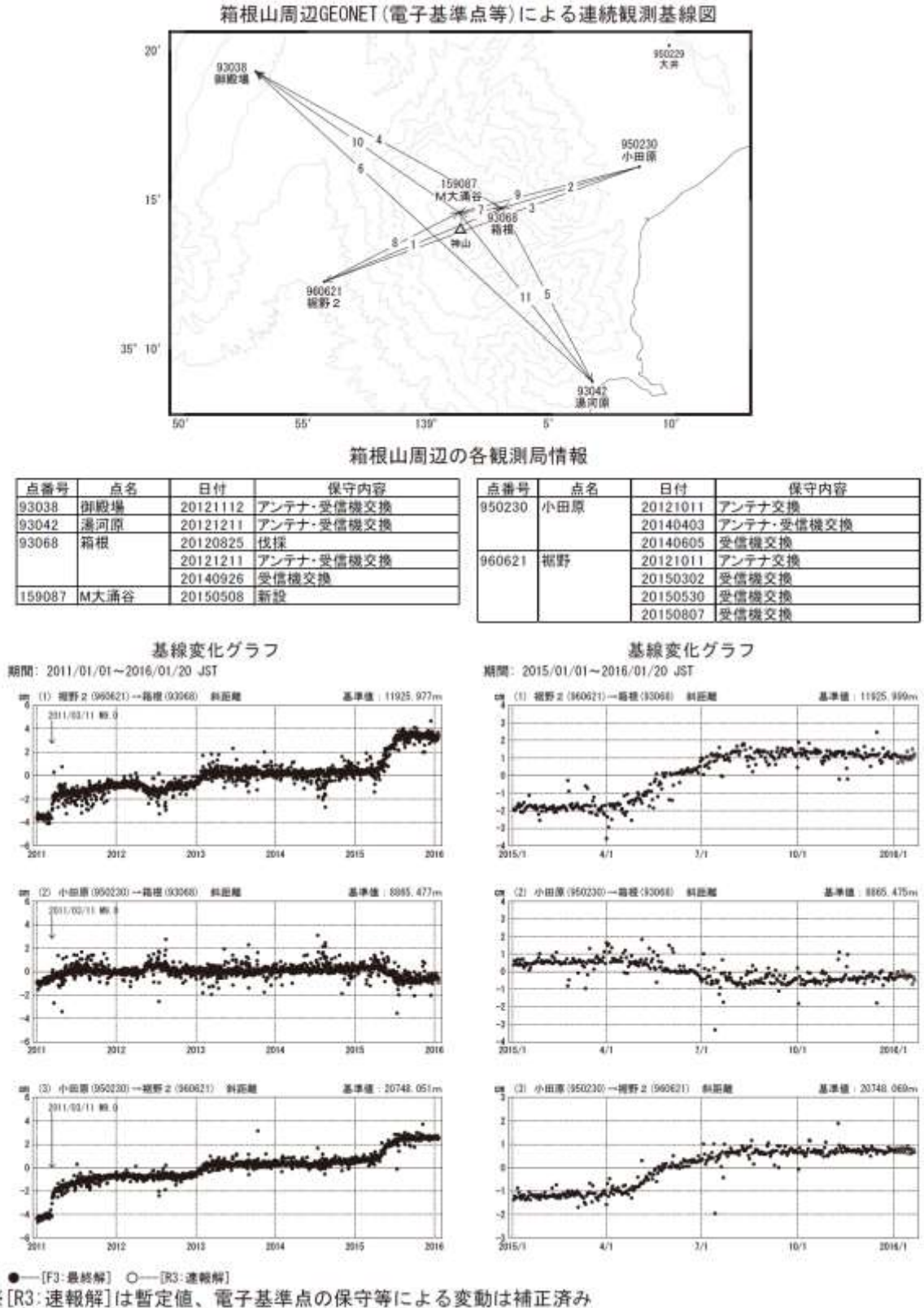
第1図、第2図は、箱根山周辺におけるGNSS連続観測結果である。第1図上段には山体を取り囲む基線の配置を、中段には上段に表示されている観測点の保守の履歴を示した。第1図下段及び第2図上段は電子基準点による基線長の時系列で、左列に約5年間、右列に約1年間の変化を示した。箱根山を挟む(1)「裾野2」－「箱根」などの基線では、2015年4月下旬頃から伸びが見られ、6月29～30日の噴火後も継続していたが、8月下旬頃から停滞している。第2図下段は臨時観測点「M大涌谷」に関する基線変化グラフである。

第3図は、2015年8月下旬以降の「だいち2号」PALSAR-2による大涌谷(箱根山)のSAR干渉解析結果である。いずれも、大涌谷周辺で衛星から遠ざかる変動が見られる。

謝辞

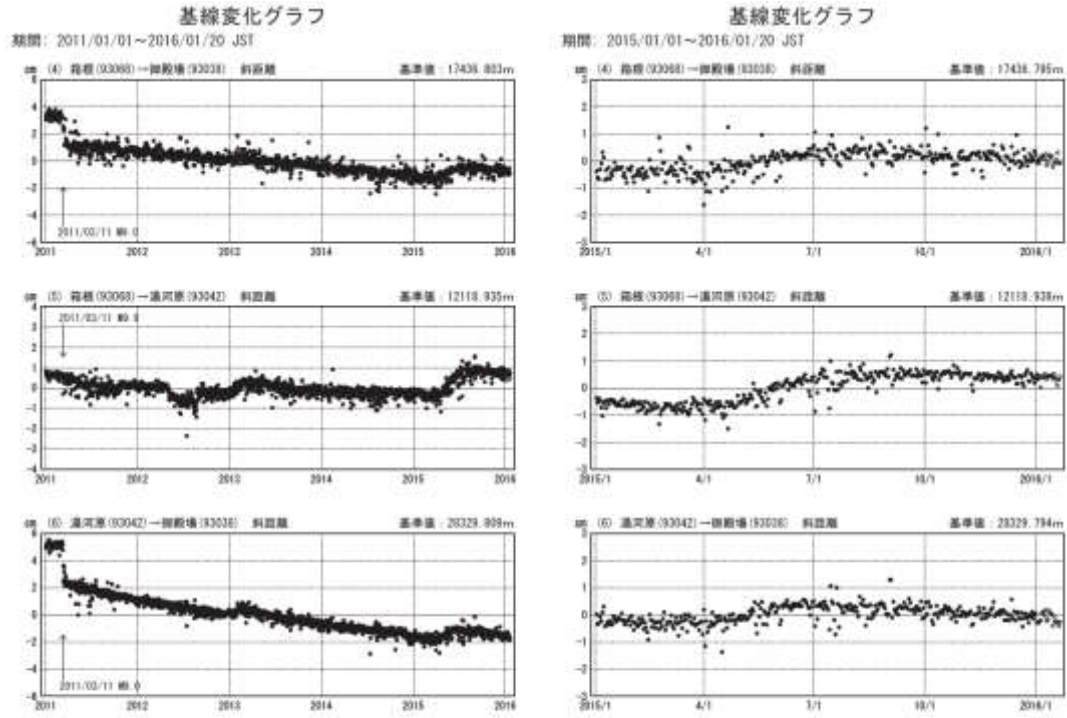
ここで使用した「だいち2号」の原初データの所有権は、JAXAにあります。これらのデータは、「だいち2号」に関する国土地理院とJAXAの間の協定に基づき提供されました。

* 2017年3月30日受付

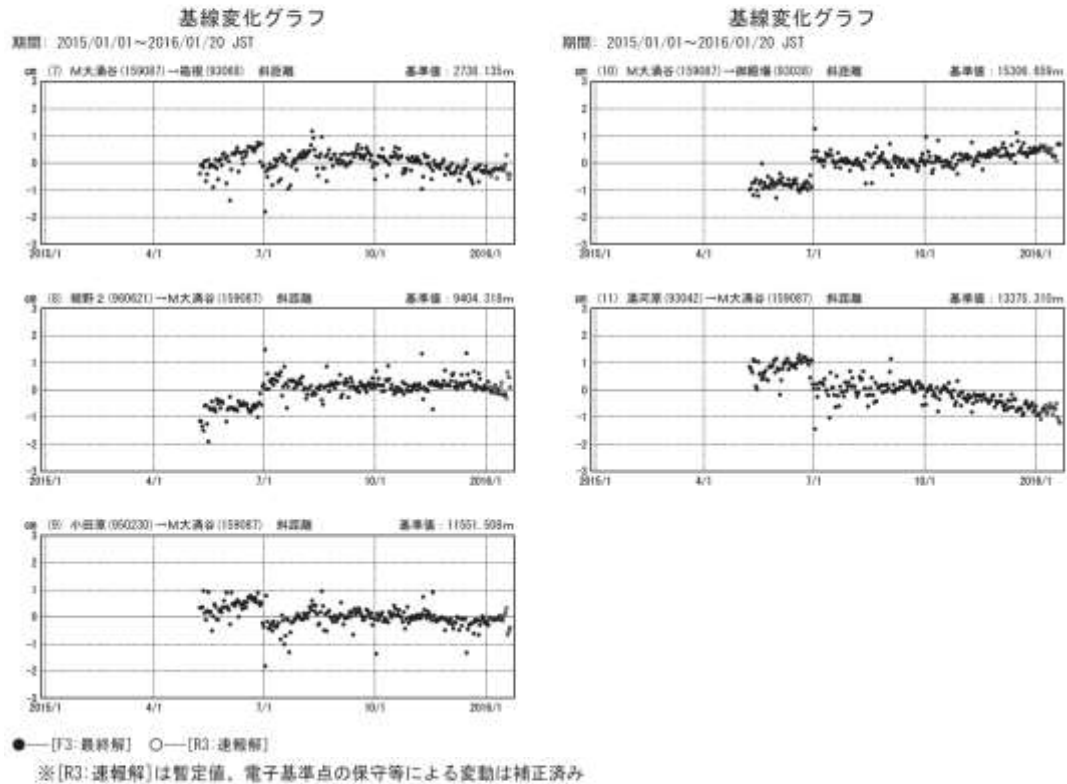


第1図 箱根山周辺のGNSS連続観測結果(上段:基線図、中段:保守履歴、下段:基線長)、(左列:2011年1月~2016年1月、右列2015年1月~2016年1月)

Fig.1 Results of continuous GNSS observation at GEONET sites around Hakone Volcano; (upper) Site location map, (middle) History of site maintenance, (lower) Time series of baseline length (left) from January 2011 to January 2016, (right) from January 2015 to January 2016.



M大涌谷 (REGMOS) に関する基線 (短期のみ)



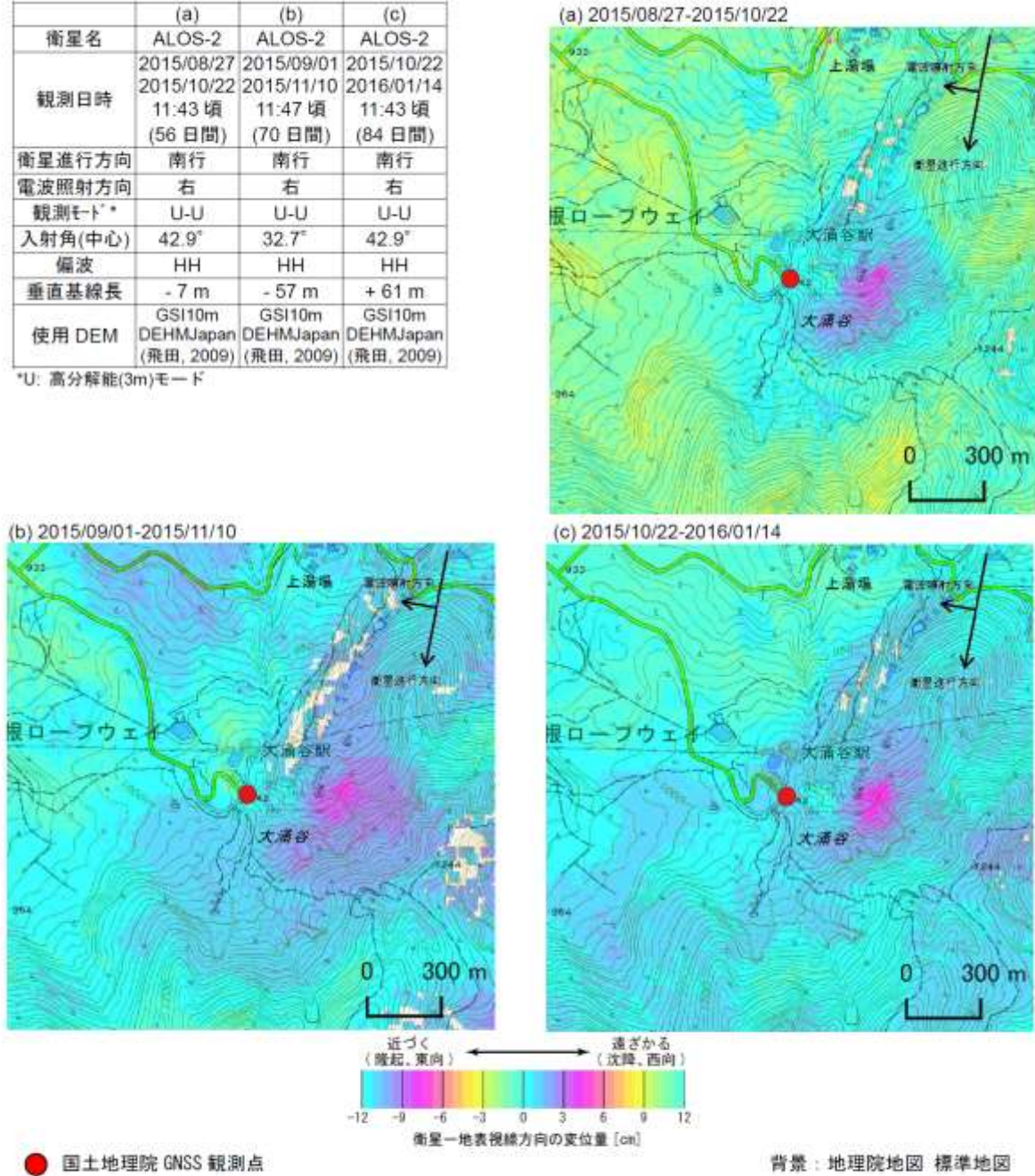
第2図 箱根山周辺の電子基準点におけるGNSS連続観測結果(基線長時系列)、(上段左列:2011年1月~2016年1月、上段右列:2015年1月~2016年1月、下段:2015年1月~2016年1月)

Fig.2 Results of continuous GNSS observation at GEONET sites around Hakone Volcano, Time series of baseline length (upper left) from January 2011 to January 2016, (upper right and lower) from January 2015 to January 2016.

箱根山の SAR 干渉解析結果について

	(a)	(b)	(c)
衛星名	ALOS-2	ALOS-2	ALOS-2
観測日時	2015/08/27 2015/10/22 11:43 頃 (56 日間)	2015/09/01 2015/11/10 11:47 頃 (70 日間)	2015/10/22 2016/01/14 11:43 頃 (84 日間)
衛星進行方向	南行	南行	南行
電波照射方向	右	右	右
観測モード*	U-U	U-U	U-U
入射角(中心)	42.9°	32.7°	42.9°
偏波	HH	HH	HH
垂直基線長	-7 m	-57 m	+61 m
使用 DEM	DEHMJapan (飛田, 2009)	DEHMJapan (飛田, 2009)	DEHMJapan (飛田, 2009)

*U: 高分解能(3m)モード



判読) 大涌谷周辺で衛星から遠ざかる変動が見られる。

解析: 国土地理院 原初データ所有: JAXA

第3図 「だいち2号」 PALSAR-2 による箱根山周辺地域の解析結果

Fig.3 Interferometric analysis of SAR acquired by ALOS-2 PALSAR-2 around Hakone Volcano.